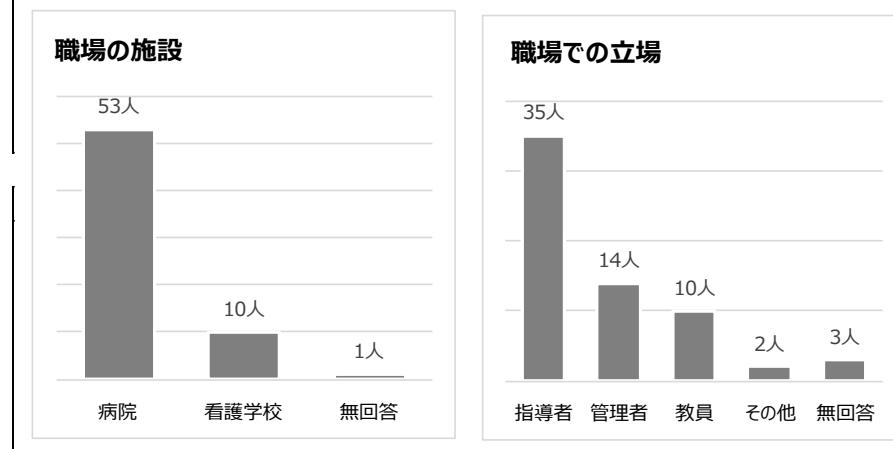
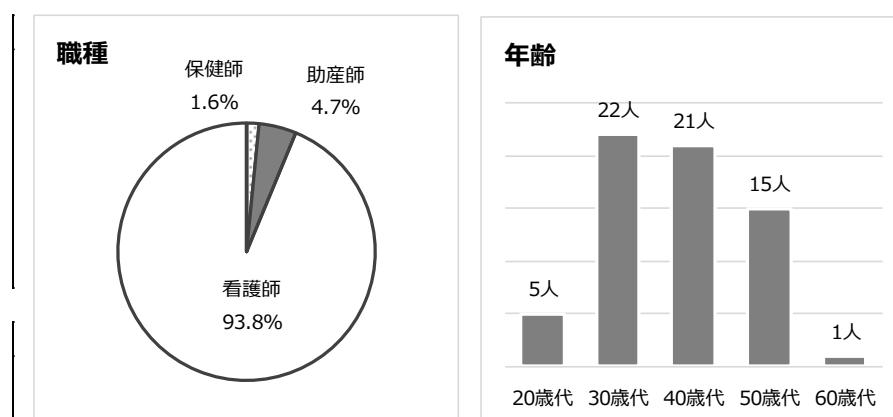


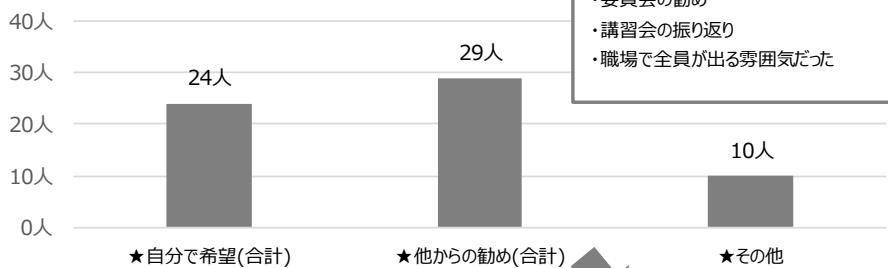
## 実習指導者講習会修了者・関係者等の交流会

目的：参加対象者の交流会を通して、教育と臨床の連携を強化できる。

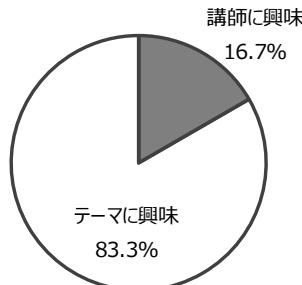
時間	10:00~12:00	13:00~16:00
目的	実習指導者講習会修了者の実際の活動状況等を関係者で共有し、今後の課題を明確にする。	参加対象者の交流を通して、教育と臨床の連携を強化できる。
内容	実習指導者講習会修了者の振り返り	講演「実習における指導者、教員の立ち位置や役割について」
講師	長崎県立大学シーボルト校 准教授 吉田 恵理子 先生	佐世保共済病院 看護部長 山崎 純子 先生 佐世保市立看護専門学校 副校長 明石 なおみ 先生
対象	令和4年度実習指導者講習会修了者	実習指導者講習会修了者 看護管理者 教育担当者 看護教員 実習指導に関心のある看護職の方 等
定員	32名	70名



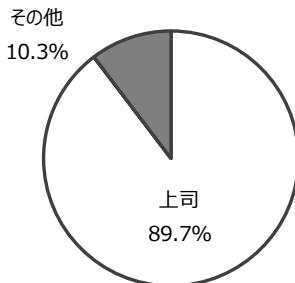
## 受講動機（重複回答可）



### ★自分で希望

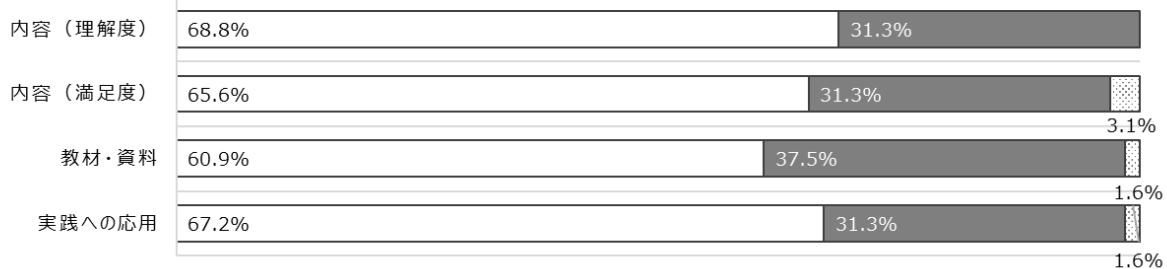


### ★他からの進め

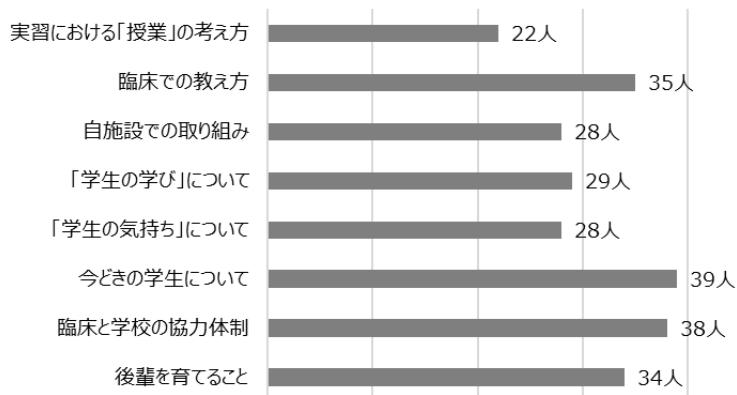


## 研修会について

□よくできた ■できた □できなかった



## 本研修で得られたもの（重複回答可）



受講者数	65人
回答者数	64人
回答者率	98.5%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

#### ＜評価＞

今年度は、学校参加者 10 名、施設参加者・R4 年度修了者 55 名の合計 65 名が参加した。グループワークの際、全てのグループで教員と臨床側とで意見交換ができた。比較的どのグループも活発に意見交換がなされ、アンケート結果からも連携の必要性や改善していきたい等の意見が多く聞かれた。

研修に関する満足度はほぼ良好であり、「やや不満」の回答を示した 2 名のうち一人はもう少しディスカッションの時間が欲しいという内容であり、他は未記入であった。

#### ＜課題と今後の取り組み＞

グループワーク終了後「実習環境を整えていきたい」「これまでの学生への対応を見直せた」「教員・学生とのコミュニケーションの重要性を感じた」「スタッフを巻き込んでいきたい」等の意見があつたが、具体的な内容までは至っていなかった。アンケート（本研修で得られたもの）の「自施設での取り組み」が前年度と比較して 35 ポイント下がっていたことからも実践的な意見交換まで至らなかったと思われる。次回のグループワーク時にはより具体的に示していくことが求められる。

学校と臨床との交流を進めるため、次年度も学校からの参加人数アップのための広報活動に取り組んでいく。